

事務事業名	雲南市シルバー人材センター補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	総務G	課長名	野々村 達志
施策名	〈21〉高齢者福祉の充実	担当者名	石原 聡志	電話番号	0854-40-1041
目的	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、住み慣れた地域で安心して暮らす。	(内線)	2131
基本事業	〈062〉社会参加活動の推進	予算科目	0:1150:1 0:5207:6	大事業名	地域福祉総務管理事業
目的	65歳以上の市民	意図	地域とのつながりを持つ。	中事業名	雲南市シルバー人材センター補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
65歳以上の市民	生きがいを持って、いきいきと暮らす(高齢者が就労を通して、健康で豊かな老後を送れるようにする)。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき組織された公社)雲南市シルバー人材センターが、就労の機会と場の提供を行うことにより、健康で豊かな老後の充実を図り、地域社会づくりに寄与することを目的に取り組む事業、活動に対して補助を行う。 会員の労働で得た収入の大半は賃金として会員に支払われるため、運営に係る人件費等を国と市が補助している。 また、間接支援として、会員・就業機会の拡大のための広報活動等の協力を行う。
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・補助金交付 ・広報活動の支援	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 会員・就業機会の拡大につなげるため、広報誌掲載、文字放送の利用など、広報活動の支援に取り組んでいる。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 人材センター正会員数	人	454	466	458	458
イ 就業延人数	人	35,805	37,638	36,072	36,072
ウ 就業率	%	88.1	89.4	93.6	93.6
エ 作業契約金額	千円	205,085	226,758	221,909	221,909

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
事業運営に対する補助金:16,604千円 (国と同額)	国庫支出金	千円				
【財源:介護保険 保健福祉事業費負担金】	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	8,002	8,302	6,054	2,283
	一般財源	千円	6,712	8,302	10,550	14,321
	事業費計	千円	14,714	16,604	16,604	16,604

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	会員数、受注件数、受注金額(契約金額)ともに松江、出雲に次ぐ県内第3位の事業実績を上げている。高齢者の豊富な経験、知識、能力を活かし、地域社会の日常生活に密着した就労機会を確保し、草刈りや住まいの管理など、必要とされる貴重な労働力として活躍していただいている。
② 事業実施するうえでの課題	人口減少・高齢化が進行する中、働く意欲のある高齢者の就労機会を提供することは、生きがいの創出、社会参加の促進による地域社会の活性化、個人収入などに繋がっており、今後も当該団体の運営に係る継続的な支援が必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	会員増強及び就業拡大につながるよう、会員募集やシニア就業相談会の開催等の広報など、可能な範囲での支援に努めていく。